



日本とモンゴル・音楽を通じての文化交流が実現！



「スーホの白い馬」の朗読に合わせたの琴の合奏

3月13日春の日差し心地良い日に、町民交流事業「琴と馬頭琴が奏でる若草の香り」を開催しました。

酒々井町で聴ける世界最高の演奏を、年に一度、多くの町民と一緒に楽しみたいとNPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会が始めた町民交流事業は2回目を迎えて、今年もプリミエールで盛大に音楽会を開催することが出来ました。

今回は日本伝統の弦の音曲を最高レベルの琴の演奏で楽しみたいとの企画で、東京藝術大学出身で抜群の実力が評価されて第一線で活躍されている木田敦子さんの出演をお願いしましたところ、ここ酒々井での演奏が適えられることとなりました。

更に幸いだったことは、この演奏会のお話を耳にされたモンゴル出身の馬頭琴の名手ウルグンさんが、モンゴルと日本の伝統音楽の競演を買って出て頂いたことでした。本邦初公演ではないかと思われる合奏のために、難しい合奏譜づくりに木田さんの献身的なご協力を頂き、二つの全く異なった音色を持った古典楽器の見事な合奏が実現しました。終演後も客席からは惜しめない拍手が続き、この画期的な演奏を酒々井で居ながらにして楽しめた幸運を心に深く残して頂いたことと思います。

予告

平成28年度 町民交流事業 映画会

もっと不器用に、もっと真実に。
人生を楽しもうじゃないか。



ホームカミング

あなたの何かが変わる！！

高田純次主演「ホームカミング」上映決定
笑いと涙たっぷりの
ほっこり人情喜劇。

日時：9月11日（日） 13：30 開場
14：00 上映

場所：中央公民館講堂

参加費：無料

主催：NPO 法人 輝け酒々井まちづくり研究会

共催：酒々井まちづくり研究会

築山(つきやま)

現在、築山と呼ばれている木内家の旧庭園は、昔、印旛沼に突き出た丘陵地であり、近代の道路開発で切断され孤立した小丘になったものと言われています。江戸時代は、佐倉藩の領地で御林(おんばやし)と呼ばれ材木を確保するための山林でした。周囲から見ると一段と高く、遠方からも良く目立つ丘陵で大きなヤマザクラがあったと言われ、土地の人からは桜山と呼ばれていた丘陵でした。戦国時代には、見張り台や砦として利用されていたようです。また、明治時代には、明治天皇が行幸の途中立ち寄ったことでも有名です。

現在は、ボランティア団体が丘陵や周辺の整備、清掃を行っており町民の憩いの場の一つになっています。

その活動をされている『酒々井・山紫会』会長の青山真知子さんにお話を伺いました。以下、青山さんのお話です。

子供が小学生の頃に一緒に登った築山に約 30 年ぶりに訪れました。階段の手すり等も整備されていましたが、階段は泥や落ち葉におおわれていて、階段がどこにあるのかわからず、こわいくらいでした。でも、景色は昔のまま絶景でしたが、木も大きくなり昔より半分くらいしか見えない状態でした。明治天皇が三里塚への行幸の際、往復で 4 回も築山に立ち寄られて景色を楽しまれたという記念の碑は草に囲ま

れてひっそりとありました。絶景と記念碑、こういう素晴らしい酒々井の埋もれた名勝を整備して、酒々井の憩いの場所にして町の皆さんに楽しんでもらっては・・・という思いで交流サロン井戸端にいらしてる方達に呼びかけ、14 名の方が賛同して下さり、築山の整備保全をする会「酒々井・山紫会」を平成 23 年 4 月に立ち上げました。是非、さわやかな風が心地よい、築山の魅力をお楽しみ下さい。



明治の博覧図でみる築山



階段を登ると素晴らしい眺望

知ってる?!

「千葉の絆」プロジェクト
推進会議
陸前高田「千葉氏関連文化財」
復興記念モニュメントの建設に
ご協力をお願いします!



私達の会は、東日本大震災において壊滅的な被害を被った岩手県陸前高田市が、千葉県同様、中世、千葉氏が開いた高田城の城下町であることを、震災を機に偶然知ることとなりました。またこの城跡には、この度の大震災の時に多くの方がこの高台に避難し尊い命が救われました。このような縁から「千葉の絆」プロジェクト推進会は、陸前高田市の復興支援をしようと考え活動を開始しました。復興支援としましては、千葉氏の居城であった高田城跡に史跡案内板を建設し多くの人命を救った城址で千葉氏ゆかりの地で有ることを人々の記憶に留めて頂くことに致しました。この史跡案内の看板を建設するため広く募金をお願いすることに致しました。皆様のご厚意をお待ちしています。

＊陸前高田市には、千葉氏ゆかりの城址や城館（米が崎城跡、二日市城跡、矢作城跡）跡が沢山あります。

口座番号：00280-7-52597 口座名義「千葉の絆」

連絡先：郵便番号285-0926

千葉県印旛郡酒々井町本佐倉352

電話：043-496-0015

「千葉の絆」プロジェクト推進会議

FAX：043-496-4572

JR 酒々井東口ロータリー色とりどりの花でいっぱい



以前の様子



見事な花壇



『出来る時に出来る事を出来る人が』を
合言葉に毎月第2土曜日に活動しています



しすい花植隊の活動に
ご協力下さった企業の紹介
【M&B フローラ】様
【宮生不動産】様
(ふらわーれい)
ありがとうございました



しすい花植隊は、
平成26・27年酒々井町住民公益活動補助金事
業として認められ、駅ロータリー花壇整備を進め
ています。皆さんの参加をお待ちしています。
(関：496-3246 杉山)



『魅力いっぱいのガイドボランティア』

酒々井ふるさとガイドの会
本吉丈夫さん



まずは、健康の源である事。ガイドをする事は、一日に1時間本を読み、10人と会話をし、100回の深呼吸をし、1000文字を書き、10000歩歩く、このすべてが出来る事になり、こんな素晴らしい事はない。ガイドでお会いする人達とは、まさに一期一会。ウォーキングがあり、会話があり、グループの中で笑顔が生まれ、そして感謝の言葉が聞かれる。ガイドをすると人の心が印象に残るので、相手の心をくすぐる様な話しをする事。まず自分が楽しくそしてその楽しさが相手に伝わる事を考えている。今は、歴博で月4回、本佐倉城跡で月2回のガイドを行っています。これからの夢は、松尾芭蕉の奥の細道をすでに60パーセント歩いているので残りを歩き完歩する事です。そして【消極的貢献ですが“酒々井”を多くの人々に伝えていきたい。】と話されました。

第2回 えきフェス!

6月25日(土)
10:00~12:00
JR酒々井駅
まちの交流スポット



酒々井駅
ウエルカムドリンク
ハーフティー

さわやかな香りも
お楽しみください
協力: ミントの会



10:30~11:30
ミニコンサート

モンゴル伝統楽器・馬頭琴の
音色を聴いたことがありますか...
モンゴル馬頭琴奏者

ウルゲン

3月演奏会
大好評再演



酒々井手作りショップ

- ①あんでるんです
- ②布あそび
- ③ヒーモルすい(ヒーモル水)
- ④婦人会作品

募金をお願いします

平成28年熊本地震の
災害支援に役立てます
ご協力をお願いします

よ・ろ・し・く・ね!



出店・内容は変更の場合もあります。

『まちの交流スポット』

JR酒々井駅の改札前に、毎週土曜日
10時~12時まで、憩いのスペースが
開かれていることをご存知ですか?

交流の場として、駅の利用者や、買い物の
行き帰りの際に、また、活動情報の発
信の場所として、駅文庫と合わせてご利用
頂けます。

そこで『まちの交流スポット』では、定期的
なイベントを開催して、ふれあいのあ
る町民交流を進めていけるようにと2月
のオープニングに続く2回目『えきファ
ス』を企画致しました。心のもった手作
り品の出店やウエルカムドリンク、そして
最大の目玉『ミニコンサート』とすべてに
おいて手作り感たっぷりの内容です。ご
近所の方や、お友達をお誘いの上、お
越しください。

次回は8月を予定しています。
活動のPRの場として、また出店ご希望
の方は、事務局までご連絡ください。

メンバー募集

酒々井・山紫会の仲間になりませんか?
築山の環境整備にあなたの力をお待ちしています!

活動日: 毎月5日・20日9時~

(冬は10時~12月中旬から2月中旬は休会)

内 容: 築山の草刈、清掃、花植え等を行っています。

連絡先: 090-5811-7694(会長 青山)

043-480-7030(交流サロン 井戸端)

※まだ築山を一度も訪れた事がない方もいます。この築山
の素晴らしさを知ってもらい『憩いの場』として楽しんでもら
える場にしていこうと皆んなで楽しもう!という理念の元に
頑張っています。作業の合間や終わってから東屋で涼しい
風に吹かれて飲むお茶は絶品です。
会員は随時募集しています。見学だけでもOKです。

駅文庫利用者さんからのお手紙紹介

私には5歳になる息子がいますが、毎日のように駅前文庫
を利用しています。
リニューアルする前に、本のお引越を少しお手伝いさせ
てもらったせいか、毎日の仕事のように自分では読めなそう
な難しい本を選んで、家で頑張って読むのが日課です。読
めない本でもすごく楽しそうに持ってきます。毎日、沢山の方
が利用しているのをみかけます。以前よりも駅前が明るくな
ったようです。
駅が本でいっぱいになる日が来たらすごく楽しいだろうと、こ
の駅前文庫の取り組みの未来が楽しみです。



駅文庫からのお知らせ

ご自宅にある読み終えた本や児童図書等、皆様から
の献本を受付けています。(連絡先: 496-3246 杉山)

編集後記

まちづくり通信『シスイツチ』も5号の発行となり、少しずつ地域に馴染んできているようです。多くの方々にお越し頂いた春の音楽
会のご報告、えきファス、映画会のお知らせなど今後も皆様との交流がより広がります様願っています。なお、ご意見、ご感想ご質
問は、事務局 (TEL 080-2566-3233) へ